

活用ナビ

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいぎょうをあたえているか考える。

②● 題、出典を読みましょう。

● 縦軸・横軸は何か、書きましょう。

※題から「変化」を調べることを押さえる。

③● 米の消費量と生産量はどのように変化しているでしょうか。

全体的にどうなっているでしょうか。

年ごとにはどうなっているでしょうか。

④● 消費量と生産量を比べて気づいたことは何でしょうか。

※理由も考えさせる。

⑤● なぜ、そのようなことになったのか、教科書から理由を見つけましょう。

※本文だけではなく、グラフからも考察させる。

⑥● これから消費量と生産量はどのようになると予想されますか。

※予想を米作りへの影響に結びつける。

⑧● ノートにまとめを書きましょう。

※ねらいに対応したまとめにするために、変化と影響の視点を指示する。

5年-6

2-1 米づくりのさかんな地域 米づくりがかかえる課題

P76～P77

5年 組 番

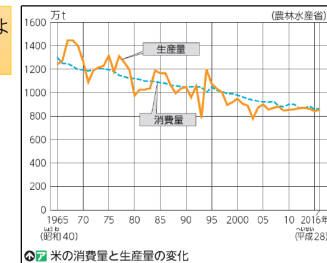
名前

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいぎょうをあたえているか考える。

②【基本】グラフの題・出典を読もう。

縦軸は（米の消費量と生産量）

横軸は（年）



③【基本】米の消費量と生産量は、それぞれどのように変化していますか。

※ヒント「全体としては？」「年ごとの上下は？」

- ・どちらも全体として少しずつ下がっている。
- ・生産量は年によって増えたり減ったりしている。
- ・消費量はほとんど下がり続けている。

④【ポイント】米の消費量と生産量を比べて気づいたことは何ですか。（消費量と生産量の関係）

- ・生産量が減ったから消費量も減ったと思う。
- ・消費量が減ったから、生産量も減らしているのだと思う。
- ・1980年ごろまでは生産量の方が多かったけど、95年ぐらいからは生産量の方が少なくなっている。

⑤なぜそのようなことになったのか、理由を教科書から見つけよう。

- ・米が余るようになって、稲の作付面積を減らした。（生産調整）
- ・ウのグラフのとおり、米の作付面積は減っている。
- ・エのグラフから、農業で働く人が減っていることも関係があると思う。

⑥これから米の消費量と生産量はどのようになると予想しよう。

- ・ますます少なくなると思うから、対策が必要だと思う。

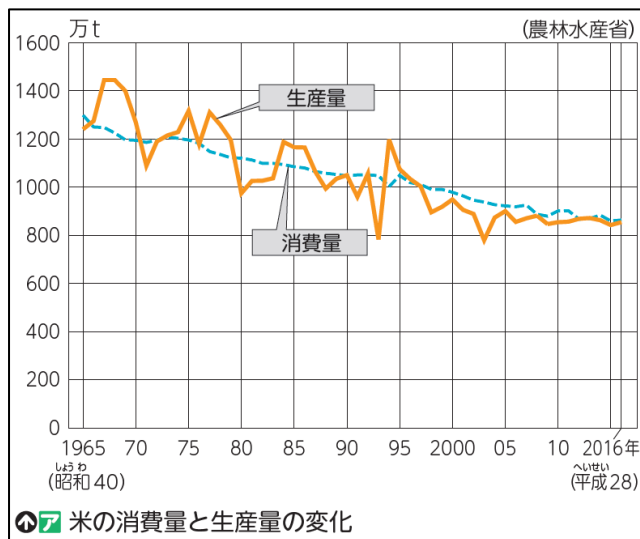
⑦米づくりにどのようなえいぎょうがあるのか話し合おう。

⑧米の消費量と生産量はどのように変化しているのか、米づくりにどのようなえいぎょうをあたえているのかノートにまとめよう。

©社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学 佐藤正寿，教育出版株式会社，株式会社教育同人社）2020

資料の読解

このグラフは、米の生産量と消費量が50年間にわたって全体的に減少し続けていることを示している。子どもたちが我が国の農業の課題を理解するために重要なグラフである。



その減り方はゆるやかであるものの、1965年と2016年の消費量を比べると約1300万tが約900万tと7割以下に減っている。生産量もほぼ同様である。この間、日本の総人口は約1億人から約1億2700万人と増えており、日本人が米を食べなくなったことが顕著に示されている。

消費量が減れば米も余るようになる。そのための対策として政府は1960年代後半から、生産調整の取り組みを始めた。そのための生産量の減少が1965年以降のグラフに見られる。P77には、「米の作付面積の変化」のグラフが示されており、生産量の変化とほぼ比例していることがわかる。

米の生産量で1993年と2003年の数値が低くなっているが、これはともに冷夏のために不作となった年である。特に1993年には記録的な米不足となり、外国米を輸入することとなった。このように、グラフを細かく見ていくと、その時々農業事情が見えてくる。

読解の方法

- (1) 題と出典、縦軸と横軸といった基本項目を確認したうえで、まずは米の消費量と生産量のそれぞれの変化に目を向けさせる。その際、「全体的にどのようなになっているか」「年に着目するとどのようなになっているか」という二つの視点から読み取らせる。
- (2) 続いて、米の消費量と生産量の関係に着目させ、二つの折れ線を比べさせる。ともに減っているのは関係があるのではないかと推測させる。
- (3) ともに減少し続けている理由を教科書の他のグラフや本文から調べさせ、理解を深めるようにする。さらに、グラフから今後の予想を考えさせ、米作り農家が直面している課題に結びつけるようにする。